



歴史文化かおるまら

出雲崎町

出雲崎町はこんなまち

日本海に面し約9kmの海岸線を持つ、海あり、山ありの風光明媚な町で昭和32年の町村合併から60年を迎えました。海岸地域では全国的に珍しい「妻入りの街並み」を形成しています。また、良寛生誕の地・芭蕉詠嘆地・江戸時代の天領・近代石油産業発祥地としての深い歴史や紙風船の生産量日本一、海の幸や自然に恵まれた土地ならではの充実したグルメなど、味わいたっぷり。日本海に沈む夕陽の美しさも圧巻です。



妻入りの街並み

出雲崎町の歴史

出雲崎は遠く神時代に大国主命によって開拓されたと伝えられており、江戸時代には天領として佐渡の金銀荷揚げや北前船の寄港地、北国街道の宿場町として栄え、人口約2万人、人口密度は越後一といわれたほどで長屋建築の街並が今も面影を残しています。また、良寛ゆかりの施設を始め、天領地として栄えた当時の出雲崎を今に伝える施設も多数あります。

観光・特産

～獅子舞～

出雲崎の正月の伝統行事。調子のいい太鼓や笛の音と共に、威勢のいい獅子が街並みの家を

悪魔祓いをしながら回ります。特に金ピカ獅子頭、そしてカラフルな神楽幕を有する「飴獅子」は見ものです。【1月】



獅子舞

～大漁さかなまつり～

大好評、出雲崎漁港の感謝祭イベント。アンコウ鍋販売や大行列のサザエのつかみどり、せり体験もできる素人せり市は笑顔と活気に満ち



大漁さかなまつり



浜焼き風景

溢れ、来場客も大満足！なんといっても激安・新鮮な魚介類の販売には毎年大勢のお客様が殺到します。【5月ゴールデンウィーク】

～船まつり・大花火大会～



船まつりと花火

も見た目も迫力満点です。【8月15日】

大漁と海上安全を祈願する伝統行事「船まつり」。大漁旗を掲げた漁船による船団パレードは勇壮そのもの！先着で無料乗船もできます。夜は花火大会が開催され、会場の漁港での観覧は打ち上げ現場が至近距離で、音

品が当たる「ガラポン抽選会」や東京藝術大学の学生が制作した絵画を展示した「妻入り街並みギャラリー」などの催しもあり、盛大なイベントです。【6月・10月】

～越後出雲崎天領の里～

出雲崎は江戸幕府の財政を支える佐渡金銀荷揚げ港であり、越後で初めて七万石の代官所が置かれた幕府直轄の天領でした。その時代を再現したのが「天領出雲崎時代館」です。館内では「ロボ代官様」や「御奉行船」、特産品である「紙風船」の手作り体験コーナーなどもあります。また、日本海に突き出した観光ブリッジ「夕風の橋」は絶好の夕日スポット。橋に鎖を結び、鍵をかけると「永遠の愛で結ばれる」というわさが広まって、いつしかこの橋は「恋人達の橋」と呼ばれるようになりました。

経緯度測定標

日本海と遠く佐渡島を望む寺の境内に一辺20cm高さ50cm程の石柱が有ります。海に向かって「経緯度測定標」左右に「明治廿一年八月」「水路部」と刻字された標柱は旧海軍の水路部が付近の海図を作成するために設置したものです。GPS機能付きカメラのデータでは、緯度37° 32' 25.69" 経度138° 41' 4.97" を示しています。



経緯度測定標

～出雲崎「美食」街めぐり～

町内の割烹などがこのイベントのために作り上げた自慢の一品を「食べ歩きラリーマッ



美食街めぐり

プ」片手に食べながら町内を巡ります。豪華景